

実証実験（子どもの共用利用の無料化）の結果報告

平成 29 年 2 月 22 日 公共施設マネジメント課作成

① 中央運動公園水泳プール

年度	大人 (うち市外)	小人 (うち市外)	未就学児	合計	使用料収入	水使用量	晴記録日
H26	19,899 人 (1,314 人)	17,619 人 (1,318 人)	9,134 人	46,652 人 (2,632 人)	4,681,100 円	12,496 m ³	47 日
H27	20,949 人 (1,526 人)	18,987 人 (1,797 人)	10,354 人	50,290 人 (3,323 人)	3,919,000 円	10,193 m ³	47 日
増減	1,050 人 5.3% (212 人) (16.1%)	1,368 人 7.8% (479 人) (36.3%)	1,220 人 13.4%	3,638 人 7.8% (691 人) (26.3%)	△762,100 円 △16.3%	△2,303 m ³ △18.4% (△564,235 円) 【245 円/m ³ 】	0 日
H28 速報	20,891 人	19,109 人	9,634 人	49,634 人			
増減	△58 人 △0.3%	対 27 : 122 人 0.6% 対 26 : 1,490 人 7.9%	△720 人 △7.0%	△656 人 △1.3%			

参考：H25 中央運動公園使用料収入 17,311 千円

② 総合体育館

年度	大人	小人	合計	使用料収入(共用使用分のみ)
H26	2,242 人	504 人	2,746 人	498,800 円
H27	2,152 人	1,105 人	3,257 人	430,400 円
増減	△90 人 △4.0%	601 人 119.2%	511 人 18.6%	△68,400 円 △13.7%
H28		851 人		
増減		対 27 : △254 人 △23.0% 対 26 : 347 人 68.8%		

参考：H26 総合体育館使用料収入 30,946 千円

③ おおね公園温水プール

年度	大人	高齢者	小人	合計	使用料収入
H26	5,254 人	556 人	1,641 人	7,451 人	1,859,300 円
H27	5,237 人	539 人	2,574 人	8,350 人	1,654,400 円
増減	△17 人 △0.3%	△17 人 △3.1%	933 人 56.9%	899 人 12.1%	△204,900 円 △11.0%
H28	6,116 人	743 人	1,903 人	8,762 人	2,121,000 円

増減		対 27 : $\Delta 671$ 人 $\Delta 26.1\%$ 対 26 : 262 人 16.0%		
----	--	---	--	--

☆ いずれの施設も特に子供の利用が大きく増えた。特に水泳プールでは、市外から訪れた子供の伸び率が一番高い結果となった（総合体育館については、従来から市内と市外の区別をしていない。）。このことは、秦野市は子育てにやさしい街であるという評判が大勢の市外の方に伝わったものと評価している。

☆ 「秦野市民の税金を使って」という批判も当然あると思うが、例えば平塚市の美術館、博物館、伊勢原市の子ども科学館、あるいは、おおね公園ができる前は二宮町の温水プールなど、多くの秦野市民が利用してきている。公共施設の内容は、自治体それぞれに特色があり、それらを住民相互が広域的に利用し合うことは、公共施設の更新問題の訪れが間近に迫る中で、それぞれが負担を分かち合い、そのまちのイメージ向上にも寄与することとなり、こうした取り組みは、今後ますます必要になってくるものと考えている。

☆ なお、実証実験の実施については、市内小学校の全児童(約 8,400 名)の保護者あてにお知らせとして手紙を配布した。また、その裏面には、現在使用料の見直しを進めていることにも触れ、より多くの市民とともに公共施設の利用者負担のあり方について考える機会とした。